

埼玉県

首都圏第六FA支社



関東食糧株式会社



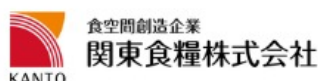
WEBサイト



心の成長を育み、食空間創造企業としての価値を高める



代表取締役社長	白田 真一郎
本社所在地	埼玉県桶川市川田谷2459-1
主な事業内容	卸売業
従業員数	220人
健康保険組合名	全国健康保険協会埼玉支部
URL	https://www.kanto-syokuryo.co.jp/



経営理念は「人源」。販路拡大や必要な施設を整備し、社員が仕事に取り組める体制を構築しました。さらに社員一人ひとりが成長し、地域社会に貢献する企業であり続けたいという思いを込めています。また、ビジョン「食空間創造企業」を掲げ、「より幸せでより豊かな食空間を創造することで世の中にいきいき、わくわく、ドキドキ、きびきびを増やしていくこと」を実現するためにも健康で元気に働ける環境が不可欠だと考えています。

コミュニケーションで生産性UP

2023年から「コミュニケーション月間」と称し、朝礼時にテーマに沿った内容で5分/1人、隔月で部署ごとのプレゼンを継続しています。

テーマは弊社の業種に合わせて、「おすすめのお店は？」など食関係に設定していましたが、2024年からは会社や業務のテーマへ発展させています。2025年に55周年を迎えること、エンゲージメントを持って会社のことを好きになってほしいことが理由です。

この取り組みを通じ、プライベートのコミュニケーションも確実に増えています。また、会話が增えることでお互いを知り、業務に良い影響が出て、生産性が上がると感じています。

社員がさらに一歩先に成長するために、「自身の業務が仲間に繋がり、その先のお客様に届く。」ということを考えられるようになってほしいと思っています。



ミャンマー×関東食糧で得られた効果

ミャンマー実習生を2023年から受け入れており、2024年7月に4期生が入社します。

経営理念である「人源」に込められた思いを形にする1つの取り組みです。

彼らが来てくれたことで、社内のコミュニケーションがより向上しました。

日本語検定を取得していますが、細かなニュアンスなど理解が難しいことがありました。その中で、どのように伝えれば良いか、工夫しながらコミュニケーションを取ったところ、よりスムーズに業務が進められるようになりました。

また入社前に企業理念もしっかり伝えていたため、弊社がどのような仕事をしているのか、社会やお客様にどのように繋がっていくか考えてくれています。実際に実習生の弁論大会に1人出場した際に、「食空間創造企業」で得られた経験、その経験を活かし家族へ恩返しをしたい想いを発信してくれました。



社員の主体性をより高めるために

より良い会社作りへと繋がるよう、「未来直行便」という取り組みを始めました。

社員から業務改善など関東食糧に関するアイデアを募り、採用された人にはインセンティブを付与するという内容です。1人の人が何度もアイデアを出してくれたりなど、関東食糧の一員として主体性を持ってくれる人が増えました。

実際に、採用したアイデアで社内キッチンの整理・整頓があったため「6S活動」と称し、採用しました。「6S」活動とは、整理、整頓、清掃、清潔、仕組み、センサーです。

仕組みは仕事のやり方を考え、より良くするために新しいものを取り入れるという意味です。

センサーは色々なものに興味を持って成長するという意味を込めています。

社内キッチンの整理・整頓もできていること、社内清掃をローテーションしながらの15分間実施していることで、社内がより快適になり、心の成長にも繋がると感じています。



心の健康から心の成長へ

AIが発達しているため、3～5年経つと生活や仕事に影響が出ます。新入社員や中途入社の人でもAIに答えを聞けば分かり、資料も簡単に作られてしまいます。

皆が同じ情報を持つ時代になるからこそ、関東食糧のバリューがとて大切になります。

人の差が企業の差になるため、心の成長やマインドを持って仕事をしているかが問われると考えています。

そのためにも、社内の協力者をより増やします。拠点長が取り組みにどれだけ賛同してくれるかが、部下の参加率や積極性に関係するためです。

発信をし続けたことにより、社内の協力者は増えました。健康経営を継続していく中で、人間力や企業力にどう繋がるか、今後も発信し続けていきます。

